



吉平酒店

信州
朝日村

だより

YOSHIHIRA SAKETEN

Open 10:00 ~ Close 19:00 2023.6

田植えも終わり、ほと-息とはいかずハウスの夏野菜に支柱を立てたり、サツマイモの苗を植えたりと畑仕事に追われています。馬也走よしひらでお出ししている野菜は、なるべく自分達で育てている野菜をお出しするようにしています。なのでその日のコースの献立を考える時にまず「今畑で何が採れそう?」という会話から始まります。献立ありきではなく、旬の食材ありきの献立ですね。2人ともずと料理に携わっていますが、この瞬間はいつもゆくゆくして楽しいです。海の食材を使用しないというコンセプトなので、色々制限はありますが、その中でも満足して頂けるようその時々のお料理を考えてゆきたいと思います。ぜひ馬也走よしひらに楽しみにいらして下さい。

3年ぶり!?



吉平酒店主催のワイン会を行います!!



テーマは高嶺の花になりつつある「ブルゴーニュワイン」です。フランスのコース料理を召し上がって頂きながら数種類別の食卓比べをしたいと思っております。当店-押し
のブルゴーニュワインを皆様と一緒に楽しみましょう!お待ちしております。

- ・日時 6月18日(日) 18:30 スタート
- ・場所 SHOKUDO & CAFE yumyum (松本市中中央4-2-22 松本市美術館内)
- ・会費 12,000円(税込)
- ・定員 12名

★ 御予約は吉平酒店 080-5349-6493まで。DMでの御予約も受付ております。

朝日村うまいもん味わいまっりVに馬也走よしひら初出店します!

朝日村内の事業所、飲食店のうまいもんが-同に集まるイベントで自家製
わりびもちの販売をさせていただきます。当店のわりびもちの本わりび粉と黒糖と
水のみを丁寧に練り上げて作っています。朝日村観光協会様へのご予約
制になります。ぜひお買い求め下さいませ。

・日時 6月24日(土) 11:00 ~ 13:00

・場所 朝日村役場駐車場

・自家製わりびもち -折 税込 ¥1,000 (ご予約はこちら↑から!)

※ お問い合わせは朝日村観光協会 0263-87-1935 にお願ひします。



専用QRコード

お持ちのスマートフォン
より読み取りください。

吉平酒店よもやま話

昨今ワインは益々嗜好性が強い飲み物になりつつありますので、今月はワイン以外の話も良いかなと思ひ当店の SNS についてお話したいと思ひます。

・吉平酒店の SNS 事情

吉平酒店では Facebook(フェイスブック)、Instagram(インスタグラム)、ブログとこの 3 種類の媒体を使っており、HP にあるブログは EC(通販)サイトに繋がっていますのでワインの購入が出来ます。簡単な分類としては、フェイスブックとインスタグラムは更新頻度と露出度が高いので、臨時のお知らせや新着ワインなど広く浅く知っていただきたい情報が主です(半分くらいは生存確認的な部分もありますが…)。それに対してブログは、ワインの試飲の実感や生産者の細かい情報など狭く深い内容の情報が主です。

・なぜ SNS で情報発信をするのか

コロナ禍により SNS の重要性は高くなっている気がしますので、SNS での情報発信は吉平酒店のような田舎にあり交通アクセスの便利でない物販商売では、時間をかける上での安心感に繋がると思ふ反面、馳走よしひら(飲食店)のような実働時間が長い業態では忙しくなればなるほどその必要性が低くなるような気がします。



・その効果は?

効果については先月号でも記載した通り、県内、県外のお客様だけでなく海外からのお客様にも届いているらしくわざわざご来店いただくキッカケになっているようです!ただ、SNS は誰でも無料で始められるものですので効果があるのか?と感じる部分は勿論ありますし、Twitter(ツイッター)、YouTube(ユーチューブ)、TikTok(ティックトック)など発信力の強さ、届き易さが移り変わっていく中で媒体を増やすべきなのか?というのは考えますが、一先ずは現在のお客様の層を考えるとこのままかなと思ひています。

・吉平酒店だよりについて

この吉平酒店だよりはアナログな方法ではありますが、SNS などが発達すればするほど手紙や DM など紙媒体の効果の高さに驚かされます。4 月号を発行出来なかつたばかりですが、出来るだけ頑張つて毎月発行していきたいと思ひます。

・6 月 18 日(日)のワイン会について(詳細は表面にて)

吉平酒店が今月開催するワイン会について触れておきたいと思ひます。

今回のワイン会のテーマは「ブルゴーニュワイン」です。開催の経緯としては、当店にご来店いただくお客様から「ブルゴーニュワインは高くて飲めない…」という言葉が年々耳にするようになり、ワインのような嗜好品もそうですが生活物資の高騰も自身の実感として感じられる今日この頃で、ゆつくりと食事をしながらグラスを傾ける贅沢な時間を過ごしていただきたいと思つたのがキッカケです。ですので、今回はワイン会と言ひながら食事にもしっかりと予算を割き、ワインも量ではなく少量多種類を御用意しようと計画しています。是非ご参加くださいませ。

